

令和4年度みんなでエコチャレンジ事業実施要領

1 目的

地球温暖化防止のためには、温室効果ガス総排出量の約5分の1を占める家庭部門における排出削減の推進が不可欠であることから、家庭でできる省エネ・省資源活動をまとめた「福島エコ道」の実践やエコ川柳の投稿などを通して、省エネの取組意欲の向上を図る。

2 主催

福島県

3 共催

福島県地球温暖化防止活動推進センター

4 対象

福島県内に住所のある全家庭

5 取組内容

(1)～(4)に取り組み、その内容を応募してもらう。

(1) 電気使用量の把握（チャレンジ編必須）

令和4年（2022年）7月の電気使用量を確認し、リーフレット上でCO₂排出量へ換算することで、具体的に家庭からの温室効果ガス排出量を把握する。

(2) 「福島エコ道」の実践（レギュラー編、チャレンジ編必須）

別紙のとおり。

(3) 「福島エコ道」の独自アイデア（チャレンジ編必須）

(1)で温室効果ガス排出量を把握した上で、行動変容につなげるため、独自アイデアを考案、投稿する。

(4) エコ川柳（任意）

エコな思いつきを川柳（五・七・五）で表現する。

6 応募受付期間

令和4年7月1日（金）～9月30日（金）（同日の消印有効）

7 応募方法

(1)～(3)いずれかの方法により応募を受け付ける。

(1) 募集リーフレット上の応募ハガキに応募者情報等を記載し郵送する。

(2) 「福島県環境アプリ」のエコアクション（レギュラー編又はチャレンジ編）に参加し、応募者情報等を入力の上、送信する。

(3) 環境共生課ホームページにアクセスし、入力フォームから応募者情報等を送信する。

8 景品の提供

(1) 5（2）レギュラー編に取り組んだ家庭のうち、別に定める抽選により景品（福島県産米又はLED電球）を送付する。

さらに5（1）～（3）チャレンジ編に取り組んだ家庭のうち、別に定める審査によってアイデアの独自性等が優秀とされた家庭に景品（福島県産米又はLED電球）を送付する。

(2) 5（4）に取り組んだ家庭のうち、別に定める審査によって「エコ川柳」が優秀な作品とされた家庭に景品（ふくしま満天堂2021グランプリ受賞「そばパスタ」）を送付する。

9 その他

本要領に定めるほか、この事業の実施に必要な事項は、福島県生活環境部長が別に定める。